

「デモから考えたこと」

3年 S.S

この夏、安保法案が可決され、新聞やテレビでよくデモの報道を目にしました。その中でも特に若者のデモの報道を目にします。最近では大学生だけではなく、高校生でデモに参加する人も多くいるそうです。私は、自分たちの意見を、国会議事堂の前など公の場で言うことができるのはすごいと思います。なぜなら、周りの目がある中で自分の意見を声を大にして言うことは勇気のいることだと思うからです。

しかし、そんな若者たちに対して、大人が SNS などで『ファッションでやってるんじゃないか』とコメントしているということも読みました。確かに、若者たちのデモでは、おしゃれなポスターを使ったり、ラップを取り入れたりしているそうです。けれど、私は、ファッションのためだけならデモには参加しないと思います。ただおしゃれをしたいだけなのならば、デモに参加する意味も必要もないと思います。彼らがデモに参加しているのは、総理大臣や政府、国に伝えたいこと、言いたいことがあるからだと思います。先程も言った通り、公の場で自分の意見を言うことには勇気があります。それでも声を上げている人たちのことを SNS で馬鹿にするようなコメントは止めてほしいなと思いました。

しかし、このような発言をしているのは一般の人たちだけではありません。

この間、自民党の衆議院議員が、学生のデモ活動の主張に対して、「『だって戦争に行きたくないじゃん』という極端な利己的考え」、「利己的個人主義がここまで蔓延したのは戦後教育のせいだろう」とツイッターに投稿したことが問題になりました。確かに、大勢の人々の前で意見を言えば、その意見に反対する人や、納得できない人が出てくるのはあたりまえです。しかし、「戦争に行きたくない」という気持ちを利己的だとしてツイッターで批判してしまうのは、なんだか一方的なように感じてしまいます。それに、「戦争に行きたくない」、「戦争で死にたくない」という気持ちは利己的とはいえないし、逆に言えば、戦争に行って死んでも良いと思う人は普通はいないと思います。また、この議員はブログで、「社会を荒廃させたのは日本国憲法であり、中でも主犯は基本的人権の尊重だ。戦後日本には身勝手な個人主義が存在している。」と書いていたそうです。私は最初、これを読んだ時に驚きました。なぜなら、私は今までこのような考えを聞いたことがなかったからです。私はこの記事を読んだ時に、この人は言いたいことがあっても、政府に反対する意見は言えず、全て国の命令に従わなければならないような社会を作りたいのだろうかと思ってしまいました。私はそんな社会は嫌だと思いました。また、そういう人が、声を上げる若者たちの事をツイッターなどで利己的だと批判するのは嫌です。怖いと思いました。

今は、自分の意見を政府を気にすることなく言うことができる時代です。それでも、自分の意見を大勢の人々の前で言うのは勇気のいる行為だと思います。私もそういうことは得意ではありません。デモをしている人たちの中にも、周りの人たちや友人からの視線など、不安に思う事もあると思います。だから、彼らの中傷するのは止めてほしいです。

私も、人前で自分の意見を言うのはあまり得意ではありませんが、デモに参加するとま
では行かなくても、自分の意見を言えるようになりたいです。